

令和6年中の事業用トラックの飲酒事故事例（物損事故を含む）

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等

	事故等の種類	車籍地	発生日時	死傷状況		当 時 の 状 況
				死亡	負傷	
1	酒気帯び衝突	福島県	1月11日 13時20分		1	山形県山形市荒楯町の片側2車線の国道において、福島県に営業所を置く 大型タンク車 が 乗用車に追突 した。 この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。
2	酒気帯び	富山県	2月8日 20時10分			岐阜県郡上市の高速道路のパーキングエリアにおいて、富山県に営業所を置く 中型トラック が、途中のコンビニで購入した酒を飲酒し休息を取っていたが、運転者の目が覚めたため、乗務前点呼を行わずに運行を開始した。 その際、パーキングエリアの 進入口を逆走 したことにより、駆け付けた警察官により酒気帯び運転が発覚した。
3	酒気帯び衝突	鹿児島県	2月23日 20時15分		1	長崎県島原市の国道において、鹿児島県に営業所を置く 大型トラック が信号待ちをしていた 軽自動車に追突 した。この事故により軽自動車の運転者が軽傷を負った。 駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。当該運転者は、事故直前の午後7時から7時45分ごろまでの間、フェリーの乗船中に飲酒した模様。
4	酒気帯び衝突	岩手県	2月26日 12時50分			山形県新庄市において、縦列駐車中の岩手県に営業所を置く 大型トラック が発進する際、 後方の駐車車両に接触 した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。当該運転者は、同日午前7時50分頃に立ち寄ったコンビニにおいて朝食と酒類を購入して事故現場に移動し、午前8時30分頃飲酒し休憩に入った模様。
5	酒気帯び衝突	千葉県	2月29日 22時15分			長野県妙高市の高速道路のパーキングエリアにおいて、千葉県に営業所を置く 大型トラック が、休息中に車両の移動をさせようと後退した際に、 側方に停止していた車両に接触 した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された
6	酒気帯び物損	京都府	3月5日 19時45分			兵庫県三木市のコンビニエンスストア駐車場において、京都府に営業所を置く 大型トラック が飲酒し休息中、駐車枠変更のため車両を移動させた際に、 駐車場の構造物に接触 した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認され
7	酒気帯び物損	長野県	3月25日 13時40分			長野県松本市の市道において、同県に営業所を置く 中型トラック が ガードレールに接触 した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。運転者は前日の夜に飲酒をしており、事故当日は遅刻したため乗務前点呼を受けずに運行を開始した。
8	酒気帯び衝突	北海道	4月9日 0時30分		1	北海道川上郡弟子屈町の国道において、北海道に営業所を置く 大型トラック が酒気帯びにて登り車線運行中、 反対車線へはみだし、下り車線を走行していた大型トラックと衝突 した。 この事故により、対向車運転手1名が軽傷を負った。事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。運転者は運行中に酒類を購入し、飲酒しながら走行したとのこと。
9	酒気帯び衝突	福岡県	4月11日 15時30分			兵庫県加西市の中国自動車道上り線加西サービスエリア内において、福岡県に営業所を置く 大型トラック が駐車位置変更のため後退した際に、 隣に駐車していたトラックの後写鏡に接触 し、警察に酒気帯び運転により逮捕された。この事故による負傷者はいない。 同日午前4時32分の乗務前点呼においては、異常は確認されなかった。

10	酒気帯び 衝突	青森県	4月19日 19時20分		1	青森県上北郡の国道において、青森県に営業所を置く中型トラックが信号待ちで停車していた乗用車に追突した。この事故により、乗用車の乗員1名が軽傷を負った。事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。 運転者は、同日午後4時頃に事故現場から数100メートル離れたコンビニで缶ビール350ml1本を購入し、同コンビニの駐車場で飲酒し、午後7時10分頃から車両を運転しはじめ、事故を惹起した。事業者では、事故前日の18日午後17時25分に対面で業務前点呼を行い、その後、上記コンビニにて電話により業務後点呼を実施していたものの、どちらの点呼でもアルコールは検出されなかったとのこと。
11	酒気帯び 横転	東京都	4月22日 6時55分			千葉県千葉市千葉県花見川区の東関東自動車道上り方向において、東京都に営業所を置く大型トラックが運行中、ハンドル操作を誤り横転した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。点呼は実施しておらず、運転者は前日にアルコール度数9%の酎ハイ500mlを1本飲酒している模様。
12	酒気帯び 衝突	奈良県	5月1日 11時00分			兵庫県の国道において、奈良県に営業所を置く大型トラックが運行中、赤信号のため停止していた車両に追突した。この事故による負傷者はいない。事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。 運転者は高速道路パーキングエリアにおいて休息中に飲酒した模様。なお、当日の業務前点呼においては、口頭でアルコール検査結果に問題ないことを確認した。
13	酒気帯び 衝突	群馬県	5月6日 16時15分	3	2	群馬県伊勢崎市の国道において、同県に営業所を置く中型トラックが運行中、ハンドル操作を誤り、中央分離帯に接触、操縦不可能となり、反対車線にはみ出し、走行してきた乗用車の側面に衝突、もう一台は、トラック側面に追突した。この事故により最初に衝突した乗用車の運転手と同乗者2名が死亡がした他、トラックの側面に衝突した乗用車の運転者が軽傷、トラックの運転者は重傷を負った。 事故後の警察の捜査により、トラックの運転者の飲酒運転が判明した。運行管理者による業務前の点呼時に酒気帯びは確認されなかったため、点呼後に飲酒したとみられている。
14	酒気帯び 衝突	三重県	6月25日 21時38分			三重県四日市の国道において、同県に営業所を置く大型トレーラが第2車線から第1車線に車線変更時に中型トラックに接触した。この事故による負傷者はいない。 事故後、駆けつけた警察官が、運転者に呼気を検査したところ、酒気帯び状態であることが確認された。業務前点呼時を11:30に行った際は、酒気帯びは検知されていないが、運転者は、市内のコンビニで缶チューハイを複数本買い、夕方から午後8時頃にかけて車内で飲酒した模様。
15	酒気帯び	鹿児島県	6月30日 10時01分			静岡県の東名高速道路において、鹿児島県に営業所を置く大型トラックが、タイヤがパンクした状態で走行していたことから、高速道路高速隊に停止を求められた際、酒気帯び運転の容疑で逮捕されたもの。
16	酒気帯び 横転	埼玉県	7月7日 20時19分頃		1	埼玉県深谷市の国道において、同県に営業所を置く中型トラックが交差点手前でガードレールに接触し、横転した。この事故により、中型トラックの運転者が軽傷を負った。 事故現場に駆けつけた警察官がアルコール検査を行い、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。運行途中にコンビニで缶酎ハイ500mlを4本購入し、そのうち2本を飲んだ模様。トラックの車内からアルコール飲料の空き缶が発見されている。
17	酒気帯び 衝突	山口県	7月7日 23時00分頃			静岡県沼津市のコンビニエンスストアの駐車場において、山口県に営業所を置く大型トラックが、駐車するため駐車場内を走行していたところ、駐車していた乗用車と衝突した。事故後、別のコンビニエンスストアに逃走したところ、乗用車の運転者が警察に通報し、警察官到着後、事故現場のコンビニエンスストアに戻った際に、警察車両にも衝突した。この事故により負傷者はいない。 事故後、警察官がアルコール検査を行い、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。当該運転者にアルコール検知器は携行させておらず、点呼時にアルコール検査は実施していなかった。

18	酒気帯び 衝突	青森県	7月9日 19時15分		岩手県宮古市の国道において、青森県に営業所を置く大型トレーラが左カーブを曲がり切れず、対向してきた乗用車と接触した。この事故による負傷者はいない。 事故現場に駆けつけた警察官がアルコール検査を行い、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。
19	酒気帯び 衝突	埼玉県	7月26日 19時48分		茨城県古河市の国道において、埼玉県に営業所を置く中型トラックが信号待ちで停止していた車両に追突した。かけつけた警察官が事故処理をしている時に飲酒運転が発覚した。この事故による負傷者はいない。 運転者は、遠隔地の駐車場で業務を終了した後に飲酒した模様で、駐車場の管理人から移動を求められ、移動先への走行中に事故が発生した。
20	酒気帯び 衝突	岐阜県	7月31日 3時30分		三重県桑名市の県道において、岐阜県に営業所を置く大型トラックがガードレールに衝突した。この事故による負傷者はいない。 事故現場に駆けつけた警察官がアルコール検査を行い、当該運転者の酒気帯び運転が確認された。 前日21:00ごろまで飲酒した残りの缶酎ハイを、当日1:30ごろの起床後に飲酒し、自家用車で出勤した模様。乗務前点呼は実施していない。
21	酒気帯び 衝突	大阪府	10月1日 9時30分		奈良県葛城市の国道において、大阪府に営業所を置く大型トラックが交差点で信号待ちをしていた乗用車に追突した。この事故による負傷者はいない。 事業者によると、早朝からの運行であったため点呼は実施できていなかったとのこと。 また、運転手は午前1時頃まで飲酒したと供述しているが、どれ位の量を飲んだかまでは確認できていない。
22	酒気帯び 衝突	千葉県	10月11日 15時10分 頃		埼玉県三郷市において、千葉県に営業所を置く中型トラックが運行中、コンビニエンスストア駐車場から出発の際に、停車していた警察車両前部に当該トラックの左後部が接触した。この事故によるけが人はいない。 その場にいた警察官によりアルコール検査が行われ、酒気帯び運転が発覚した。 当該運転者は、当日午前11時ごろ、荷主先の駐車場で待機中に飲酒したとのこと。
23	酒気帯び 衝突	大阪府	10月24日 9時55分		滋賀県長浜市の県道において、大阪府に営業所を置く大型トラック・トレーラが運行中、2か所の交差点へ立て続けに赤信号で進入し、それぞれの交差点で青信号にしたがって進行してきた車両と接触したにもかかわらず走行を続け、更に先の交差点で赤信号で停車していたところを、事故を目撃した車両から進路を塞がれて、ようやく停止した。この事故による負傷者はいない。 事業者によると、午前4時に業務前点呼実施予定であったが、運転者は点呼を受けることなく出庫したため、飲酒した時点や量については不明。
24	酒気帯び	北海道	10月23日 16時30分 頃		北海道勇払郡占冠村の北海道横断自動車道の上り車線で、酒気を帯びた状態で大型トレーラを運転していた運転者が道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された。 高速隊によると、道東道占冠パーキングエリアで居眠り運転や飲酒運転防止の啓発活動を行っていたところ、声掛けから逃げるかのように発進した大型トレーラを発見したもの。
25	酒気帯び 衝突	静岡県	10月24日 9時17分		広島県廿日市市の国道において、静岡県に営業所を置く中型トラックが運行中、前方を走行していた陸上自衛隊の車両に衝突した。この事故によるけが人はいない。 中型トラックの運転者は酒気帯びの状態であったため、駆け付けた警察官により現行犯逮捕された。 事業者によると、運転者は休息していたサービスエリアで飲酒したとのこと。
26	酒気帯び 衝突	鹿児島県	11月2日 3時30分 頃		福岡県北九州市の国道において、鹿児島県に営業所を置く大型トラックが運行中、道路上のクッションドラムに接触して、そのまま逃走した。 その後、警察によって大型トラックは停車させられ、運転者の呼気を調べたところ基準値の6倍のアルコールが検出されたため現行犯逮捕された。 運転者は、北九州市内の当該事業者の別の営業所にある休憩所内で缶酎ハイを3本飲酒したのち、点呼を受けずに運行を開始した模様。

27	酒気帯び 衝突	佐賀県	12月6日 23時30分		愛媛県伊予市の高速道路のサービスエリアにおいて、佐賀県に営業所を置く大型ダンプが、サービスエリア内に設置されている車止めの石柱に衝突し、そのまま逃走した。この事故による負傷者はいない。 当該運転者が当該サービスエリアでの業務後点呼後に食料と共にチューハイを購入しているところを同社の同僚が目撃しており、休息中に飲酒して運転を開始した疑いがあることから、同社の別車両で運行していた上司が警察に通報し、捜索を行った警察により愛媛県東温市の別のパーキングエリア内にいる当該大型ダンプを発見して、運転者の呼気を検査したところ約0.5mg/Lのアルコール反応が検出されたため逮捕された。
28	酒気帯び 衝突	鳥取県	12月13日 15時55分 頃		山梨県大月市の中央道下り線で、鳥取県に営業所を置く大型トラックが、工事に伴う渋滞で走行車線に止まっていた最後尾の乗用車に衝突するなど車3台が関係する事故があり、駆けつけた警察官により当該運転者が酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕された。
29	酒気帯び 衝突	岡山県	12月16日 23時00分		広島県広島市のトンネル内において、岡山県に営業所を置く中型トラックがトンネル壁面に衝突したが、当該トラックはそのまま逃走した。その後、12月17日（火）午前0時5分頃、広島市中区の国道において、上記事故にかかる不申告（当て逃げ）事件を捜査中の警察官が声がけしたところ、当該トラックの運転者が酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕となった。この事故による負傷者はいない。 電話点呼時は運転者からの口頭での報告をさせていたが、アルコールチェッカーの作動音の確認はしていないとのこと。なお、事故直近にあたる中間点呼はメールで行ったとのこと。
30	酒気帯び 死傷	大阪府	12月27日 20時47分 頃	1	大阪府堺市の府道において、大阪府に営業所を置く大型トラックが丁字路を右折しようとしたところ、右折先の横断歩道を右側から進行してきた自転車に気付かず衝突した。この事故により、当該自転車乗りが死亡した。 事故現場において、大型トラック運転者の呼気から基準値を超えるアルコール濃度が確認されたため、当該運転者は警察により酒気帯び運転と過失運転致傷で現行犯逮捕された。